

目標達成計画

作成日: 令和4年3月14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	介護保険と同時に開設した当ホームの利用者様の暮らしは落ち着き認知症の進行も緩やかに経過している。職員も定着し馴染みの関係が築けている。コロナ禍、制限のある生活でなんとか平穏な日常をと努める中、徐々に一番大切に考えてきた一人ひとりに寄り添った楽しみの持てる暮らしの実現から遠ざかりつつあると感じた。 当グループホームは3ユニットあり、それぞれのユニットの個性を活かした目標を設定している。メナーージュは「認知症の人が認められる環境で笑顔で豊かに過ごせること」シエールは「自宅でやりたかったけどやれなかったことを見守りの中で支えていきたい」リーブルは「職員も含め色々な年代の方がみえ、お互いが刺激を受けて高めあうホーム」と目標を掲げてきた。それを踏まえ、今一度原点に戻った時、各職員も目標や入居者のあるべき生活の形について意識、理解できているか疑惧された。	まず職員が目標へのプロセスの重要性や目指す入居者の姿について確実に理解する。その中でマンネリ化を見直し、グループホーム3ユニットの特性を活かしながら入居者一人ひとりが目標に向かい生き活きと生活出来るように取り組む。	①職員のモチベーションがあがり、目標を意識して取り組めるような工夫。 ・毎日の振り返り時間の充実。 ・カンファレンスにおける意見交換。 ・職員全員が法人理念を充分理解する。 ②3ユニット合同で楽しめるイベントを企画し2ヶ月(奇数月)1回開催する。他ユニットを招待する交流会等 ③月1回献立のない昼食の日を企画する。 ④四季を感じられる活動を企画する。 (春は花見弁当、夏は流しそうめん、秋は収穫祭。栗おこわ、冬は冬野菜を使った鍋パーティー) ⑤ホームで育った果実を皆さんと話し合い楽しいおやつ作りを企画する。 ⑥ホーム畑で育った野菜を使った料理を献立に取り入れる。 ⑦一人ひとりの思いを目標にする ・本人や家族からやってみたいことややっていたことを確認する。 ・カンファレンスにて、生活状況からの気づきを職員間で共有する。 ・無理なく継続できることを目標にする。 ⑧実現可能に向けてのケアプランを作成する。	2ヶ月
				⑨週1回のカンファレンスにて実施状況について話し合い検討する。 ・活動時の表情や感想を把握する。 ⑩運営推進会議(1回/2ヶ月)にて活動報告する。 ・日々の暮らしが分かりやすい写真を使いアルバムを作成し回覧する。 ・目標達成計画(2ヶ月毎)の取り組みを報告する。 ⑪毎月家族へ近況を報告し家族への協力を得られる様に働きかける。計画の見直しを一緒に行い意向を反映していく。	12ヶ月
				⑫目標達成状況を評価し新たな目標に向け本人や家族と話し合う。 ・状況や課題を再検討する事で、改善が必要とされる場合は見直しを行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。